

土木構造用 FRP 部材の設計基礎データ

目 次

第 I 編 部分安全係数に関する調査

第 1 章 構造材料の材料係数および部材係数の現状

1.1 複合構造物の材料係数および部材係数

1.1.1 複合構造標準示方書

1.1.2 Eurocode 4 (EN 1994)

1.2 コンクリートの材料係数

1.2.1 現状

1.2.2 背景

1.2.3 特性値

1.3 鋼材の材料係数

1.3.1 鋼材の板厚および強度に関する統計調査

1.3.2 鋼・合成構造標準示方書

1.3.3 鉄道構造物等設計基準 鋼・合成構造

1.4 連続繊維補強材の材料係数

1.4.1 連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計・施工指針(案)

1.4.2 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針

1.4.3 ACI 440.2R-06

1.5 FRP 部材の材料係数

1.5.1 FRP 歩道橋設計・施工指針(案)

1.5.2 EUROCOMP Design Code and Handbook

1.5.3 イタリア科学技術会議の引抜成形材の Guide

1.5.4 FRP 部材の材料係数の比較

1.6 FRP 部材の品質規格の検討

1.6.1 JIS K 7015-2013

1.6.2 EN 13706-2002

1.6.3 JIS K 7015-2013 と EN 13706-2002 の相違点

1.6.4 現在の品質規格の課題と提案

第 2 章 FRP 部材の材料係数と部材係数の考慮事項

2.1 材料係数および部材係数の定義

2.2 構造用 FRP の材料係数

2.2.1 FRP の物性値取得方法と材料係数・部材係数

2.2.2 材料強度の特性値からの望ましくない方向への変動

- 2.2.3 供試体と構造物中との材料特性の差異
 - 2.2.4 材料特性の経時変化
- 2.3 構造用 FRP の部材係数
- 2.3.1 限界値算定式の精度
 - 2.3.2 部材寸法のばらつきの影響

第3章 部材の重要度

- 3.1 FRP 部材の力学特性
- 3.2 構造設計における部材係数
- 3.3 性能・健全度評価における重要度の考え方

第Ⅱ編 FRP 部材の諸性状と試験方法の検討

第1章 成形・施工の精度

- 1.1 成形の精度
 - 1.1.1 引抜成形材 SP75
 - 1.1.2 引抜成形材 SP100
 - 1.1.3 まとめ
- 1.2 加工の精度および加工時の熱の影響
 - 1.2.1 FRP の切断
 - 1.2.2 FRP の穿孔
 - 1.2.3 まとめ

第2章 FRP 製品の性能の変動

- 2.1 引抜成形材
 - 2.1.1 引抜成形法の特徴
 - 2.1.2 各種引抜成形材の諸性状および性能
 - 2.1.3 各種引抜成形材の性能の変動について
- 2.2 GFRP ハンドレイアップ成形材
 - 2.2.1 ハンドレイアップ成形法
 - 2.2.2 各種ハンドレイアップ成形材の諸性状および性能
 - 2.2.3 各種ハンドレイアップ成形材の性能の変動について

第3章 曲げ性能

- 3.1 引抜成形材 SP75
 - 3.1.1 クーポン試験による評価
 - 3.1.2 部材試験による評価
- 3.2 引抜成形材 SP100
 - 3.2.1 クーポン試験による評価
 - 3.2.2 部材試験による評価

3.3 クーポン試験と部材試験の比較

第4章 圧縮性能

4.1 引抜成形材 C100

4.1.1 クーポン試験による評価

4.1.2 部材試験（長柱）による評価

4.2 引抜成形材 C200

4.2.1 クーポン試験による評価

4.2.2 部材試験による評価

4.3 ハンドレイアップ成形材 FCH180

4.3.1 クーポン試験による評価（その1）

4.3.2 クーポン試験による評価（その2）

4.3.3 部材試験による評価

4.4 極短柱供試体を用いた圧縮性能評価

第5章 引張性能

5.1 引抜成形材 C100

5.1.1 クーポン試験による評価（その1）

5.1.2 クーポン試験による評価（その2）

5.1.3 部材試験による評価

5.2 引抜成形材 C200

5.2.1 クーポン試験による評価

5.3 ハンドレイアップ成形材 FCH180

5.3.1 クーポン試験による評価

第6章 FRPの性能の経時変化

6.1 環境作用によるFRPの性能の経時変化

6.1.1 水中での経時変化

6.1.2 屋外環境での経時変化（耐候性）

6.1.3 コンクリート中での経時変化

6.2 荷重作用によるFRPの性能の経時変化

6.2.1 繰り返し荷重による経時変化

6.2.2 一定荷重による経時変化

まとめおよび今後の課題